

重要課題④ 地球環境保全への取り組み

ハイライト 環境保全計画

方針

KDDI

第3期中期環境保全計画「KDDI GREEN PLAN 2012-2016」

KDDIが2012年度に策定した第3期中期環境保全計画「KDDI GREEN PLAN 2012-2016」は、2016年度に最終年度を迎えました。本計画は「低炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」の3つを重点課題とし、それぞれに具体的目標を定めたもので、KDDIはこれらの実現に向けて3Gアクション「ICTのGreen(Green of ICT)」「ICTでGreen(Green by ICT)」「お客さま・社員とGreen(Green Road Project)」を推進してきました。



KDDI GREEN PLAN 2012-2016

活動・実績

KDDI

第3期中期環境保全計画の総括

「KDDI GREEN PLAN 2012-2016」は、3つの重点課題に対し計7つの目標を定めており、「自社ビルおよび本社ビルを対象とした一般廃棄物のマテリアルリサイクル率90%以上」を除く6つの目標を達成しました。

一般廃棄物のマテリアルリサイクルについては、処理委託先の設備スペックなど、各処理地域に依存する事情もあり、目標は未達成となっています。

■ 第3期中期環境保全計画の実績

	目標	結果	評価
低炭素社会	(1) 2016年度の電力消費量を、省エネ対策を講じない場合より30%抑制	41.8%抑制	○
	(2) 2016年度の加入者あたりの電力消費量を、2011年度比15%削減	38%削減	○
	(3) 2012年度末までにトライブリッド基地局を100局に拡大	100局	○
循環型社会	(1) 撤去通信設備のゼロエミッション徹底 ^(注)	0.4%	○
	(2) 使用済み携帯電話のマテリアルリサイクル率99.8%以上	99.8%	○
	(3) 自社ビルおよび本社ビルを対象とした一般廃棄物のマテリアルリサイクル率90%以上	83.6%	×
生物多様性	(1) 生物多様性保全の行動指針にもとづいた活動推進	達成	○

注 最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義

方針

KDDI

第4期環境保全計画の策定

第3期中期環境保全計画の結果を踏まえ、引き続き「地球温暖化対策」「循環型社会の形成」「生物多様性保全」の3つを重点課題とし、2030年度までに自社のCO₂排出量を2013年度比で7%削減することなどを掲げた新たな環境保全計画「KDDI GREEN PLAN 2017-2030」を策定しました。KDDIは、本計画の目標達成を目指し、より一層地球環境保全に貢献していきます。



地球温暖化対策

- ・2030年度のKDDI単体(国内)のCO₂排出量を、2013年度比で7%削減^(注)
 - ・エネルギー効率の高い国内外データセンターの構築
 - ・KDDIのICTサービスの提供を通じて、社会のCO₂排出量の削減に貢献
- (注) 2013年度比を2013年度実績値(2013年度)を基準とし、2030年度実績値(2030年度)を算出する。

循環型社会の形成

- ・撤去通信設備のゼロエミッション維持^(注)
 - ・使用済み携帯電話のマテリアルリサイクル率99.8%維持
- (注) 最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義。

生物多様性保全

- ・生態系を保全するため、ICTを活用した取り組みを積極的に推進

「KDDI GREEN PLAN 2017-2030」の概要

- 1.地球温暖化対策
 - ・2030年度のKDDI単体(国内)のCO₂排出量を、2013年度比で7%削減
 - ・エネルギー効率の高い国内外データセンターの構築
 - ・KDDIのICTサービスの提供を通じて、社会のCO₂排出量の削減に貢献
- 2.循環型社会の形成
 - ・撤去通信設備のゼロエミッション^(注)維持
 - ・使用済み携帯電話のマテリアルリサイクル率99.8%維持
- 3.生物多様性保全
 - ・生態系を保全するため、ICTを活用した取り組みを積極的に推進

注 最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義